

日本共産党市議会議員 太田秀子事務所だより

2018年夏季号
太田秀子市政事務所
東区伏古4条3丁目4-30
☎ 786-0011
FAX 792-8171
ご相談、ご意見がありましたら
事務所までお寄せください

第一、二回定例議会での太田秀子市議の質疑の一部を紹介します。
本会議や委員会質問の様子は、札幌市のホームページから動画で見ることが出来ます。ぜひご覧ください。

就学援助準備金 中学生に続き、小学生も来年度から三月に支給

これまで、6月にならないと支給されない入学準備金を、入学前に支給するよう代表質問や委員会でも繰り返し求めてきました。2017年から、中学生の入学準備金が3月支給に。小学生についても、第一回定例会特別委員会で太田市議の質問に「申請の手続きや支給方法について検討をすすめていく」と答弁していました。
このたび、小学生も来年度から三月に支給されることになりました。



障害福祉サービスの利用料は更新月以外でも変更可能— わかりやすく周知すること

障害福祉サービスには就学年齢で障がいのある子どもが利用する「放課後デイサービス」や、就労を希望する方が受ける「就労移行支援」などがあります。非課税世帯は利用者負担がなく、課税世帯は一割負担です。

負担額が確定するのは6月ですが、6月以降に失業で非課税になった方が利用者負担分を払い続けるということが起こっていました。
予算特別委員会で太田市議は、利用者負担の見直し時期の取扱について質問し「本人から、非課税になった連絡をもらえば、どの時期でも

市民の声届ける

利用料の見直しはできません」と回答を得ました。しかし、申請用紙には注意事項として書かれているもののわかりづらく、それ以外の周知もされていませんでした。
市は、「今後、受給者証にわかりやすく書き入れるなど工夫していく」と答弁しました。

札幌市子どもの貧困対策計画について

太田市議は、子どもの貧困対策は、困っている人を助けるといって狭い視点に立つことなく、札幌の将来、経済にとってさしせまった課題であるという認識をもち、積極的な財政投入を行うよう求めました。

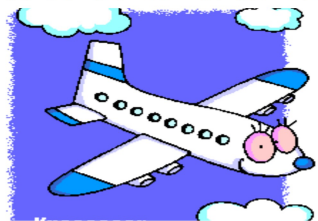
市の就学援助制度の基準は、生活保護基準の1・1倍ですが、社会保険料などを控除する前の「収入」に対してであるため、控除したあとの「所得」の1・1倍にするなど工夫し基準を拡大すること。また、子どもの医療費助成は、通院・入院の自己負担が原則無料となる対象を、未就学児から小学1年生まで拡大しましたが、6年生まで早期に実現し、いつまでに拡大するのか市民に明らかにすべきなど、具体的に提案しました。



丘珠空港の活用に関する 検討会議報告書について

2017年に発足した札幌市と北海道による「丘珠空港の活用に関する検討会議」

は、その目的を報告書の中で「丘珠空港に関する今後の方針や計画を策定するものでなく、市民や有識者などが議論するため作成したものである」としていますが、滑走路の延長を行えば、最大550億円の事業費がかかるとの試算も出ており、地域住民の不安が広がっています。



1995年に札幌市と北海道はジェット化推進、滑走路延長を国に働きかけましたが、住民の反対によりジェット化を断念した経緯があります。地元意見を踏まえ、1998年、空港周辺の生活環境の保全を図っていくことなど、「空港整備に係る基本的な考え方」をまとめています。

「外国人観光客が札幌市を訪れるため、都心から近い丘珠空港の優位性がある」「都心アクセス道路の整備により時間短縮になる」と必要性をクローズアップしていますが、観光客のうち丘珠空港の利用者数は把握していないなど、極めて根拠に乏しい効果を並べ、経済界が熱望するアクセス道路と丘珠空港の滑走路延長を優位に進めようとするものであると言わざるを得ません。

その認識をただと、「空港整備に係る基本的な考え方」を念頭に、市民と議論を深めたいと答弁しました。

そのほかの質疑項目

- 教育委員会関係 給食アレルギー対応について
- 市民文化局関係 市有地跡地利用について
- 代表質問 学校規模適正化の名による学校統廃合について

太田秀子の 活動写真日記



メーデー参加



国民平和行進参加



地域でお花見会

太田事務所に寄せられた 相談を紹介します

札幌、道路冠水

札幌地域を訪問する中で、雨天時道路の排水が悪く、住宅まで浸水すると相談されました。早速、市の土木課に相談し、調査してもらいました。「雨天時にどうなるかを詳しく調査したうえで解決方法を検討する」と報告がありました。



止まったままの伏古公園噴水

みなさんの憩いの場である伏古公園の噴水が長い間止まっているとの話がありました。土木課に問い合わせると、故障していることを把握してました。早急に原因をはっきりさせて、改修するよう要望しました。



非正規、不安定雇用が増え、明日は働けるだろうかと様々な心配を抱える人が増えていきます。誰でも生活につまずくことはありません。

一人で悩んでいないで、

気軽に「相談下さい」。

